



## 万年筆のインキが スムーズにでてくるのはなぜ？

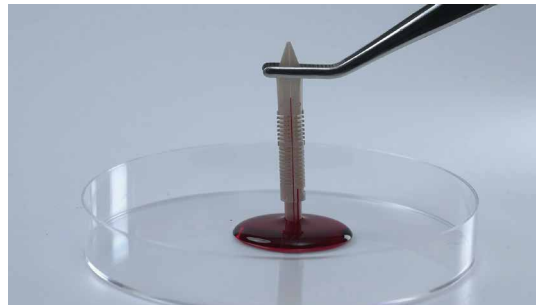
万年筆のインキが途切れずに出る仕組みは、インキをペン先に伝えるための「毛細管現象」と、インキをスムーズに出す「空気の交替作用」のふたつの作用によって、成り立っています。

### 毛細管現象

細い管を液体の中に立てると管の中の液体が水面よりも高くなることを「毛細管現象」と呼びます。管が細ければ細いほど、大きなエネルギーが働き、液体を吸い上げる力が強くなります。

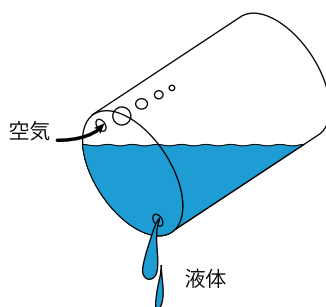


万年筆のペン芯にはインキ溝とクシ溝（くしみぞ）と呼ばれる細い溝があり、インキタンクからインキがこの細い溝へ届けられます。



### 空気の交替作用

インキをインキタンクからスムーズに引き出すためには、使ったインキの容積と同じ量の空気を送り込まなければなりません。



※ペンの種類によって空気溝の形は異なります

